

# 熱中症対策に新兵器

行田市前谷のものづくり大学OBの的場やすしさん(53)と、同大製造学科菅谷諭教授(55)の研究室が共同プロジェクトとして製作を進めていた納涼用噴霧器「ミストコーン」が完成し、熊谷市上川上の熊谷スポーツ文化公園に登場した。手軽に安価で設置可能なミストコーン。的場さんは「設置も撤去も簡単で、安全性も高い。気軽に涼んでもらえれば」と話している。(丹羽良平)

同公園内の「セラピーガーデン」エリアにお目見えしたミストコーン。プラスチック製の一般的な三角コーンの先端から霧状の水が散布されている。その数33個。約2層間隔で置かれ、涼し気な空間を演出している。コーンの先端をドリルで穴を開け、ホースを伝った水が散布する仕組みだ。材

## ものづくり大 噴霧器ミストコーン登場



「ミストコーン」を製作した的場やすしさん(後列右)、ものづくり大学の菅谷諭教授(同左)と研究室の学生「熊谷市上川上の熊谷スポーツ文化公園」といふ、視聴者から今回のミストコーンにつながるアイデアが寄せられ、具現化した。このことを知った同公園管理事務所から設置の依頼が寄せられていた。

菅谷研究室のOBでもある的場さんは、「研究を実際の社会で役立てる体験をさせてあげたい」と製作の協力を同研究室に持ち掛けた。研究室に所属する同大4年の倉持弥智世さん(21)は「既存のものでも発想を少し変えることで、世の中に役立つものができる」と実感した」といふ。

料は市販のものを使用し、1個当たりの費用は約千円。水さえあれば設置場所を選ばず、利便性に優れている。現在、商標登録と特許申請中だといふ。

的場さんは昨年、夏や冬に立ち仕事を行う人向けに、スポンのすそなどから冷風や温風を送る「冷暖三脚コーン」を開発。同装置がテレビ番組で紹介された

熊谷でミストコーンが初めて常設され、的場さんは「見た目も自然で、熱中症対策に役立つ。ミストコーンを熊谷から全国に広めた」と期待した。

### 熊谷に33個「全国へ広めたい」